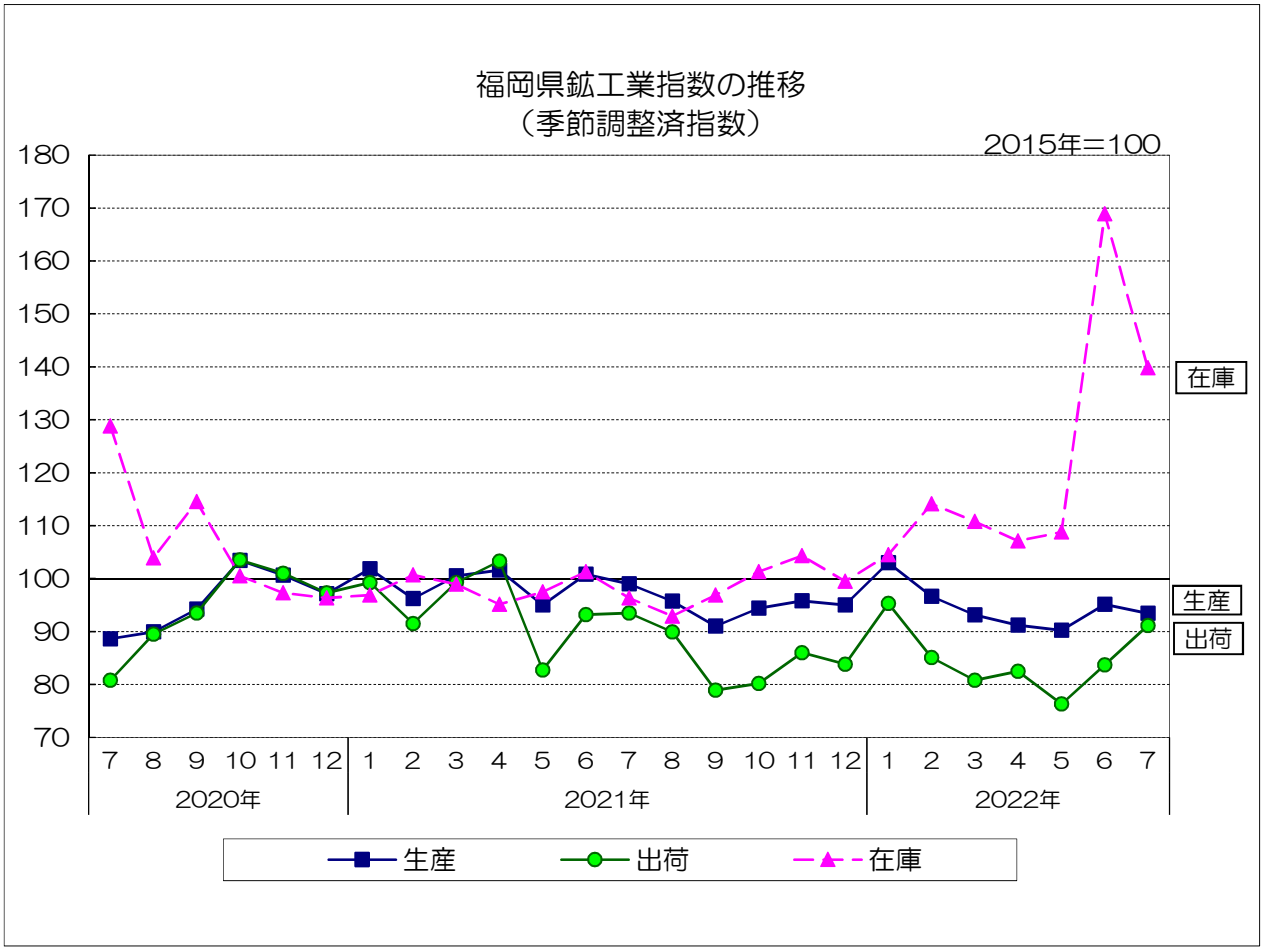
令　和　４　年　９　月　30　日
福岡県企画・地域振興部調査統計課

平成27（２０１５）年基準

福 岡 県 鉱 工 業 指 数 月 報

（令和４年７月）



福岡県鉱工業指数　利用上の注意

１．基準年次
　平成27年（2015年）を基準年とする。

２．作成の範囲
　日本標準産業分類の鉱業及び製造業を基礎とした産業の生産指数（付加価値額ウェイト）、生産者出荷指数及び生産者製品在庫指数について、原指数と季節調整済指数を作成した。

３．分類
　日本標準産業分類を基本とした業種分類と、採用品目の用途により財別に格付けした特殊分類の2通りの方法によっている。

４．採用品目
　生産指数は150品目、生産者出荷指数は１４９品目、生産者製品在庫指数は９３品目である。

５．ウェイト
　生産、出荷及び在庫指数の各品目のウェイトは、基準年次の付加価値額、生産者出荷額及び生産者製品在庫指数の鉱工業全体に対する一万分比である。

６．作成の方法
　総合算式は、基準時固定加重算術平均法（ラスパイレス算式）である。

７．季節調整
　季節調整の方法は、センサス局法を使用している。
　季節調整済指数とは、原指数を季節指数で割ることによって、季節変動を除去した系列のことである。

８．統計表中の符号
「-」　：該当する数値がない場合
「0.0」　：数値が単位未満の場合
「▲」　：マイナスの場合
「x」　：秘匿の場合

９．資料
　経済産業省「生産動態統計調査」、厚生労働省「薬事工業生産動態統計調査」、その他既存の資料及び県調査による。

令和４年７月の鉱工業指数

概　況

○　令和４年７月の鉱工業指数（季節調整済）は、生産が前月比１.８％低下の９３.４、出荷が同８.８％上昇の９１.１、在庫が同１７.２％低下の１３９.８となった。

（１）生産
季節調整済指数　:９３.４で前月比１.８％低下　（２か月ぶりの低下）
原指数　:９７.２で前年同月比５.７％低下　（５か月連続の低下）

（２）出荷
季節調整済指数　:９１.１で前月比８.８％上昇　（２か月連続の上昇）
原指数　:９５.０で前年同月比２.６％低下　（１１か月連続の低下）

（３）在庫
季節調整済指数　:１３９.８で前月比１７.２％低下　（３か月ぶりの低下）
原指数　:１４６.２で前年同月比４５.２％上昇　（１０か月連続の上昇）

○　前月比（季節調整済）

		［上昇］	［横ばい］	［低下］
生産（１９業種中）	:	６業種	０業種	１３業種
出荷（１９業種中）	:	８業種	０業種	１１業種
在庫（１８業種中）	:	７業種	１業種	１０業種

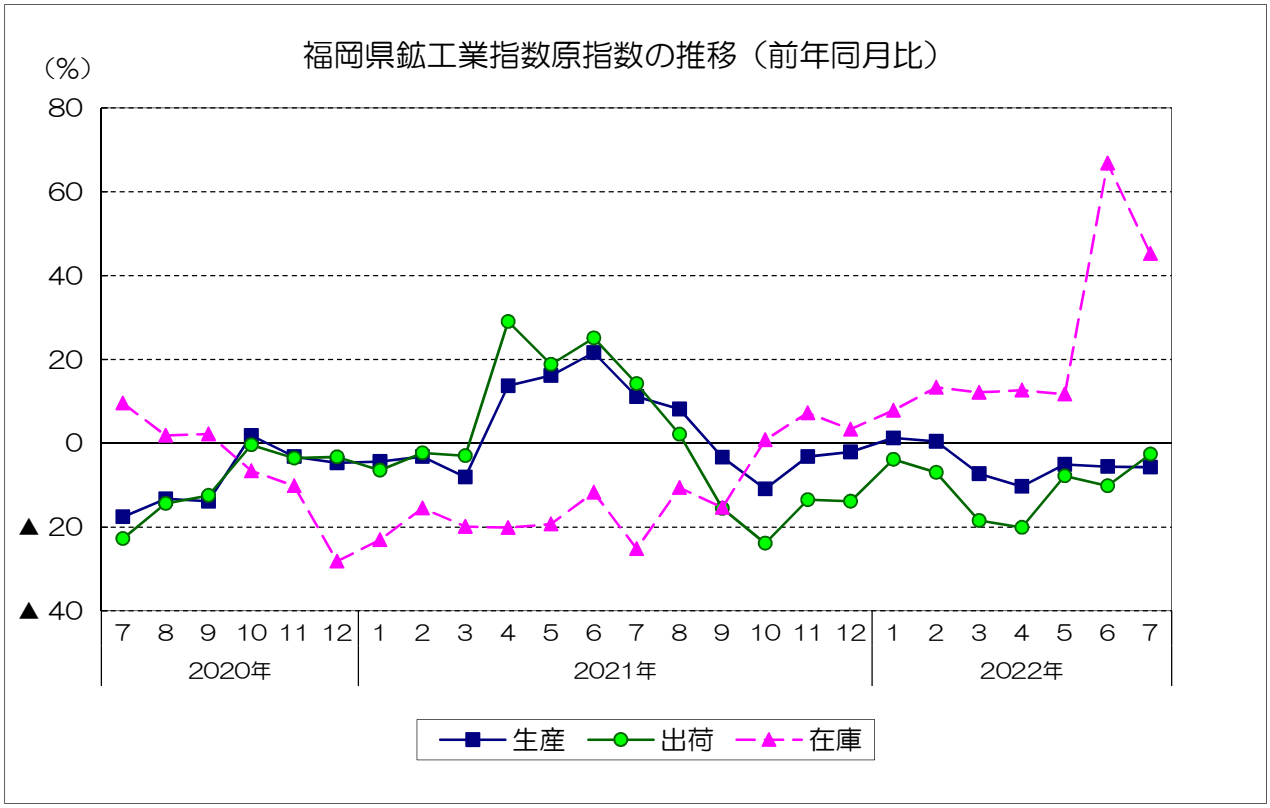
（１）全国との比較　（2015年＝100）

		季節調整済指数	前月比%	原　指　数	前年同月比%
福　岡　県	生　産	93.4	▲ 1.8	97.2	▲ 5.7
	出　荷	91.1	8.8	95.0	▲ 2.6
	在　庫	139.8	▲ 17.2	146.2	45.2
全　国	生　産	96.9	0.8	98.0	▲ 2.0
	出　荷	94.8	1.2	95.2	▲ 2.1
	在　庫	100.2	0.6	101.4	5.1

（２）前月比（季節調整済）での上昇低下（生産指数のみ）

上昇に寄与した業種	低下に寄与した業種
輸送機械工業	ゴム製品工業
電気機械工業	汎用・生産用機械工業
家具工業	食料品・たばこ工業
電子部品・デバイス工業	金属製品工業
鉄鋼業	化学工業
木材・木製品工業	窯業・土石製品工業
	プラスチック製品工業
	繊維工業
	鉱業
	非鉄金属工業
	石炭製品工業
	印刷業
	パルプ・紙・紙加工品工業

（3）原指数の推移



（4）四半期別指数の推移

2015年＝100

		生産		出荷		在庫	
		季節調整済指数	前期比（％）	季節調整済指数	前期比（％）	季節調整済指数	前期比（％）
2021年	4～6月期	99.1	▲ 0.4	93.1	▲ 3.6	101.3	2.4
	7～9月期	95.2	▲ 3.9	87.4	▲ 6.1	96.9	▲ 4.3
	10～12月期	95.1	▲ 0.1	83.3	▲ 4.7	99.5	2.7
2022年	1～3月期	97.6	2.6	87.1	4.6	110.8	11.4
	4～6月期	92.2	▲ 5.5	80.8	▲ 7.2	168.9	52.4
		原指数	前年同期比（％）	原指数	前年同期比（％）	原指数	前年同期比（％）
2021年	4～6月期	97.9	17.1	91.4	24.7	99.2	▲ 11.7
	7～9月期	95.1	5.0	87.1	▲ 0.6	96.3	▲ 15.4
	10～12月期	96.9	▲ 5.5	85.0	▲ 17.2	101.5	3.3
2022年	1～3月期	96.8	▲ 2.2	87.0	▲ 10.4	102.1	12.1
	4～6月期	91.0	▲ 7.0	79.3	▲ 13.2	165.5	66.8

※在庫の数値は期末値。

全業種・主要８業種の動向

（令和４年７月）

○　全業種の動向

（１）　生産指数は９３.４（季節調整済）となり、前月と比べると、輸送機械工業、電気機械工業などが上昇したが、ゴム製品工業、汎用・生産用機械工業などが低下したため、総合で前月比１.８％低下（前年同月比５.７％低下）となった。

（２）　出荷指数は９１.１（季節調整済）となり、前月と比べると、鉄鋼業、ゴム製品工業などが低下したが、輸送機械工業、電気機械工業などが上昇したため、総合で前月比８.８％上昇（前年同月比２.６％低下）となった。

（３）　在庫指数は１３９.８（季節調整済）となり、前月と比べると、ゴム製品工業、窯業・土石製品工業などが上昇したが、輸送機械工業、金属製品工業などが低下したため、総合で前月比１７.２％低下（前年同月比４５.２％上昇）となった。

○　主要８業種の動向

［生　　産］

業　　種	前月比（%）	前年同月比（%）	上昇または低下に寄与した主な品目（前月比）
鉄　　鋼	1.3	▲ 10.4	特殊鋼熱間圧延鋼材、鋼帯、ブリキ・ティンフリースチール　等
金　属　製　品	▲ 10.5	▲ 13.7	鋼管（ベンディングロールで成形したもの）、ガス湯沸器、スチール缶　等
汎用・生産用機械	▲ 10.5	8.3	ショベル系掘削機、半導体製造装置、クレーン　等
電子部品・デバイス	2.9	▲ 2.9	混成集積回路、トランジスタ
輸　送　機　械	12.1	▲ 7.1	四輪自動車　等
窯業・土石製品	▲ 4.4	▲ 3.5	セメント、生コンクリート、遠心力鉄筋コンクリート製品　等
化　　学	▲ 4.8	▲ 24.4	医薬品、クレオソート油、酸化亜鉛　等
食料品・たばこ	▲ 4.9	▲ 7.0	弁当、麺類、小麦粉　等
総　　合	▲ 1.8	▲ 5.7	－

［出　　荷］

業　　種	前月比（%）	前年同月比（%）	上昇または低下に寄与した主な品目（前月比）
鉄　　鋼	▲ 7.3	▲ 14.3	軌条・外輪、冷延広幅帯鋼、H形鋼　等
金　属　製　品	▲ 8.3	▲ 11.6	鋼管（ベンディングロールで成形したもの）、ガス湯沸器、スチール缶　等
汎用・生産用機械	▲ 4.6	▲ 3.6	クレーン、産業用ロボット、半導体製造装置　等
電子部品・デバイス	5.6	3.2	トランジスタ、混成集積回路　等
輸　送　機　械	37.2	4.7	四輪自動車　等
窯業・土石製品	▲ 10.8	▲ 5.1	耐火れんが、セメント、生コンクリート　等
化　　学	▲ 3.0	▲ 16.8	医薬品、複合肥料、酸化亜鉛　等
食料品・たばこ	▲ 3.7	▲ 9.1	小麦粉、麺類、弁当　等
総　　合	8.8	▲ 2.6	－

［在　　庫］

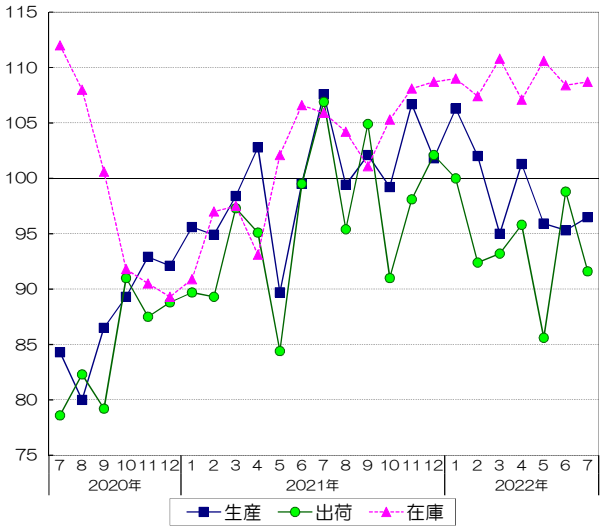
業　　種	前月比（%）	前年同月比（%）	上昇または低下に寄与した主な品目（前月比）
鉄　　鋼	0.3	2.6	鋼半製品、特殊鋼熱間圧延鋼材、鋼帯　等
金　属　製　品	▲ 10.9	▲ 16.7	飲料用缶　等
汎用・生産用機械	▲ 17.6	▲ 36.6	ショベル系掘削機　等
電子部品・デバイス	▲ 4.3	66.6	混成集積回路　等
輸　送　機　械	▲ 75.3	1111.9	四輪自動車
窯業・土石製品	3.5	11.7	耐火れんが　等
化　　学	▲ 2.5	▲ 9.9	ビスフェノールA　等
食料品・たばこ	0.0	▲ 5.5	焼酎、ビール、その他の調味料　等
総　　合	▲ 17.2	45.2	－

（注）前月比は季節調整済指数、前年同月比は原指数による。

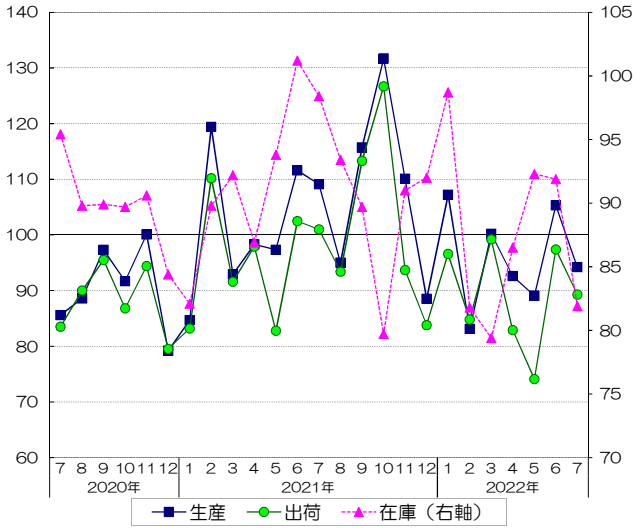
主要８業種別指数の推移（季節調整済・２０１５年＝１００）

（）内は、生産指数のウェイト

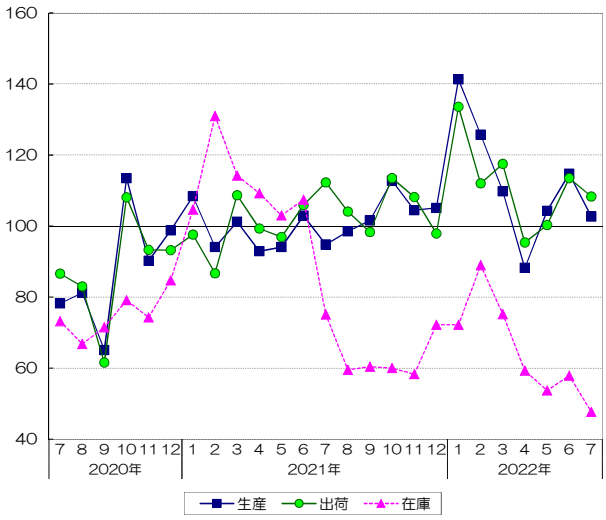
鉄鋼業（w=981.1）



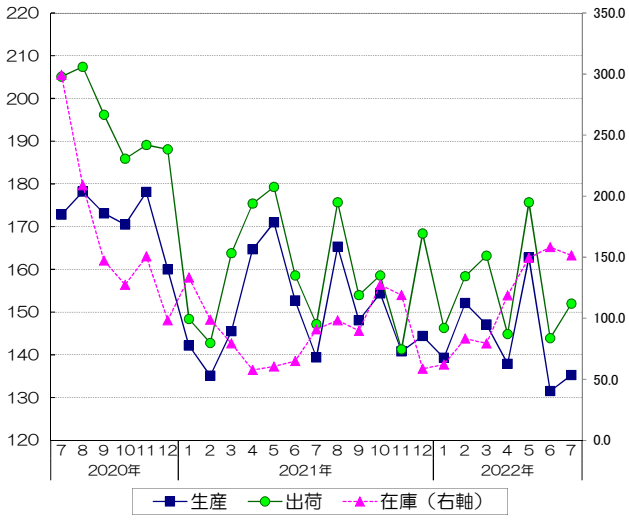
金属製品工業（w=501.5）



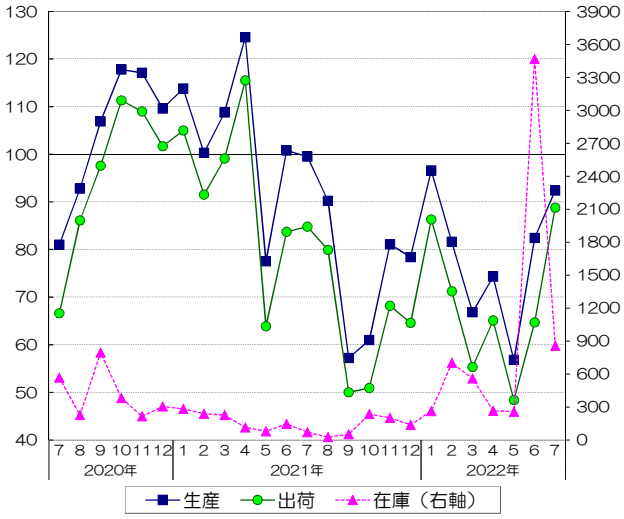
汎用・生産用機械工業（w=832.1）



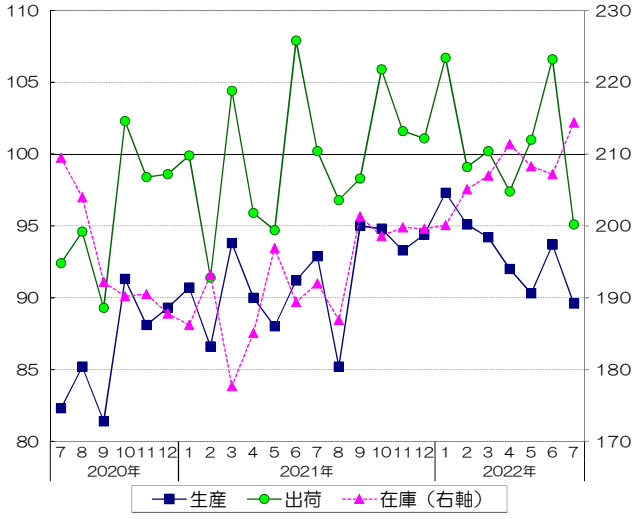
電子部品・デバイス工業（w=364）



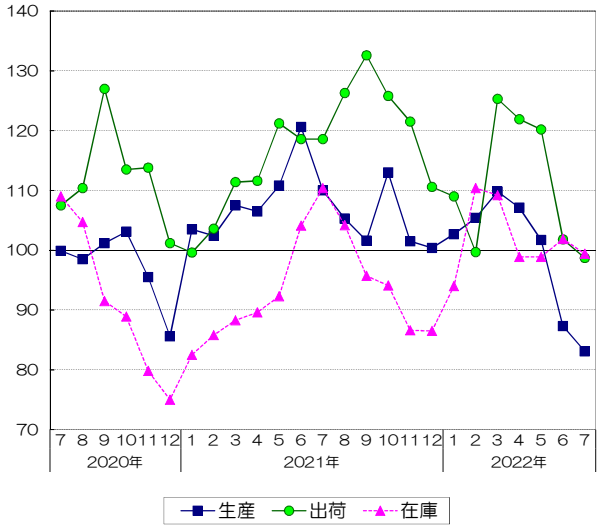
輸送機械工業（w=2024.8）



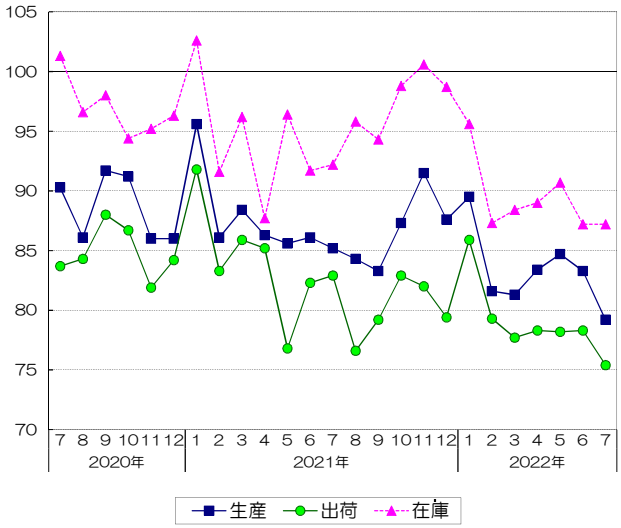
窯業・土石製品工業（w=593）



化学工業（w=728.8）



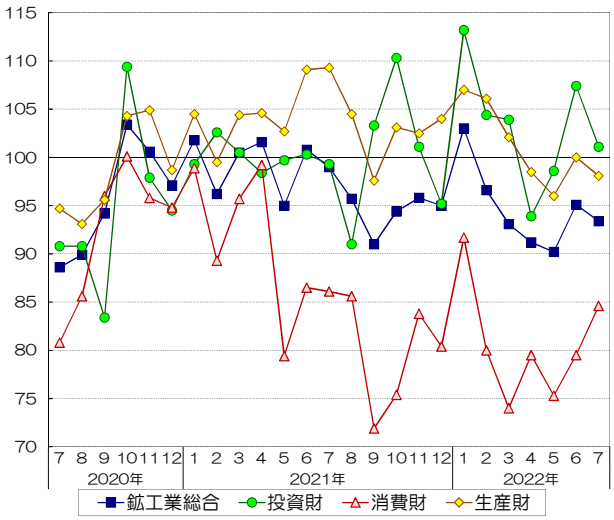
食料品・たばこ工業（w=1714.9）



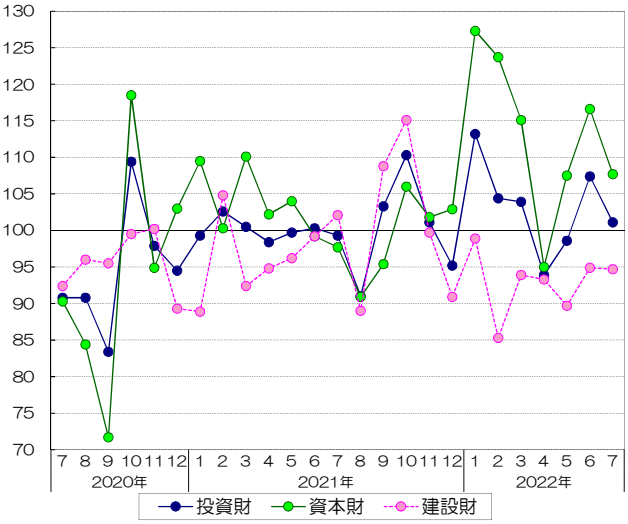
福岡県鉱工業生産指数財別の推移（季節調整済指数・２０１５年＝１００）

（）内は、生産指数のウェイト

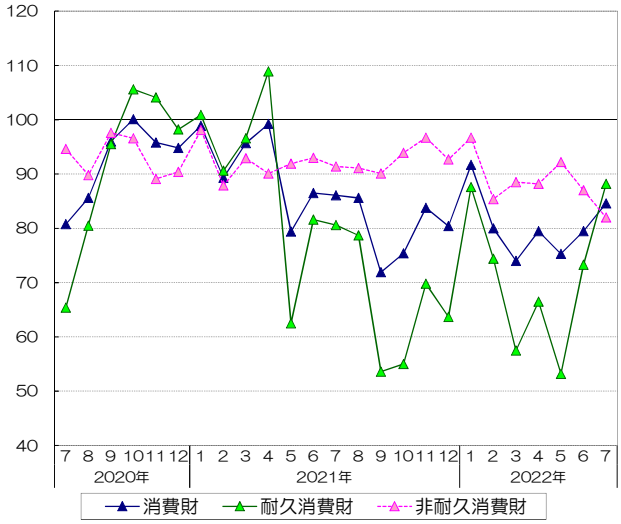
鉱工業総合



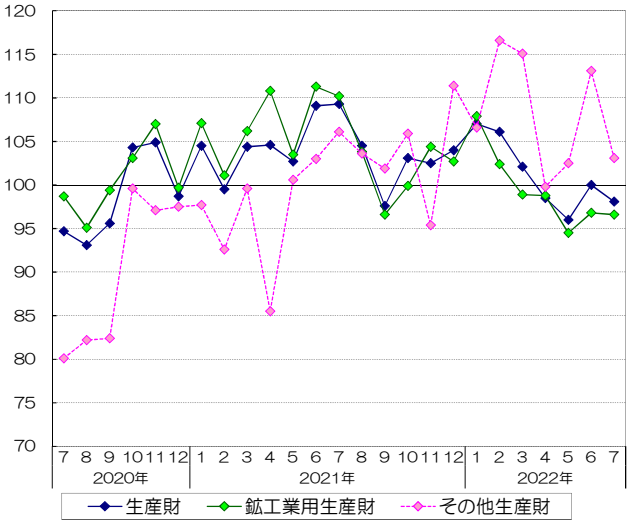
投資財（w=1705.7）



消費財（w=3334.9）



生産財（w=4959.4）



平成２７（２０１５）年基準　福岡県鉱工業指数月報
（令和４年７月）

福岡県企画・地域振興部調査統計課
代　表　　（092）651－1111

直　通　　（092）643－3190
ＦＡＸ　　（092）643－3192
e-mail　　chosa@pref.fukuoka.lg.jp